

事例
06

ご利用者様の自宅や施設の浴室での移乗介助

1. 課題

利用者の目線：

「抱えてもらう時に安定感があると、安心できるけど。」

職員の目線：

「利用者宅には機器がないし、ベッドサイドの介助用スペースも狭いことが。」

「浴室→脱衣場への移乗支援機器がないから、介助時に腰への負担が大きい。」



2. 機器の特徴

装着型移乗支援ロボット **J-PAS**

1.6Kg※1と軽くて、厚さが薄いから、利用者宅に持っていける！
靴を履いてもらう時もしゃがみやすい。

※1) 装具を除く。

防水(IP55※2)だから、浴室でも使える！



※2) 粉塵からの保護／3mの距離から全方向に12.5ℓ/分・30kpaの噴流水、3分間テスト

①主電源を入れる→②アシストレベルを確認→③ロボットを背負って肩ベルトと腰ひもを締める→④膝の装具を留める→⑤ベルトのスイッチを長押しして起動（装着時間は約1分）

→職員が、これまでの送迎時の課題を介護ロボットを活用して解決！



J-PAS

着用・使い方
動画導入体験
インタビュー
(当ホーム事例)導入事例
動画
(当ホーム事例)

【介護ロボットとは】

ロボットの定義とは、以下3つの要素技術を有する、知能化した機械システム

- ・情報を感知(センサー系)
- ・判断し(知能・制御系)
- ・動作する(駆動系)

(出典:厚生労働省ホームページ)